

開催当日は、休日のあと日、天候に恵まれました。遠出の為、早朝出発でしたが、バス定員満席で予定通り発車しました。

最初の見学先は、BCS賞を受賞した清水市文化会館マリナートです。説明者の榎事務所・千葉さんと大成建設・高橋さんには出発地からバスに同乗頂いたため、車中での概要説明を効率的に行うことができました。時刻通りの到着、多くの見どころのある室、スリルがあった客席上部のギャラリー、吸音用の孔と勘違いさせられた天井の雲模様などの濃密な設計ですが、設計者の榎事務所千葉さんのクールな説明と演者の使い勝手を知り尽くした近江さんの熱い説明で、見学者45名がたちまちのうちにこの大きな建物に引き込まれていきました。各ホールは木仕上となっており、楽器の内部で音を楽しむような設えとなっていることや、海を望むハワイエではわずかな時間でもぼかんと過ごすことができるために、立地の必然性を感じ取るひと時も与えてくださいました。

徒歩による移動で昼食会場、貸切にして頂きましたが、全員分の食卓を見て、出席者の多さを改めて実感した瞬間でした。食後の時間も予定通りの分刻み、当日は魚河岸がお休みの為、土産購入にも不自由をかけることとなってしまいました。



車中正面に見える富士を目指します



客席上部ギャラリーは下部の客席を見渡することができるためスリリング。希望者のみの見学となりました



中ホールでの説明 左側が近江さん、中央手前が千葉さん、右奥が高橋さん



昼食は隣接する清水テルサから周囲を眺めながら



マリナート 港に面したハワイエを見上げる



マリナート ホワイエ部分の外観 ガラス被膜を通して見えるホワイエ壁面

昼食後、遅れてはならない、と緊張した駿府教会への到着時間ですが、予定通り。入口のところでお待ちいただいた西沢大良さん、見学者の人数にやや驚かれた様子でしたが、瀬谷牧師とともにプロテスタント教会の作法をご説明くださいました。礼拝堂が小さく見えるほど大勢の人数での入室、瀬谷牧師のオルガン演奏を礼拝堂で聞くことができたのは、礼拝堂の中で空間をとらえようとする見学者の意気込みの中で清涼水のようでした。後日、メールにて午前中の礼拝の時間の光の入り具合も見てほしい旨のご案内も頂き、西沢さんにとっては大勢での見学、大変だったろうにと案じながら胸をなでおろしました。

最後の訪問は このはなアリーナ、説明は内藤廣事務所の福原さんをお願いしました。大きな空間がメカニカルに、精緻に支えられている様子は、周辺や頂部から取り込まれる自然光と相まって爽快な印象を持ちました。

バスのほぼ定員乗車となり、見知らぬ同士で狭いバスの中、窮屈な思いをさせていただきました。車中も研修時間であり、行き帰りは30年近く前の建築番組が放映され、著名建築家の若き日の姿、現在は解体されてしまった建物を見ることができ充実しました。

同業の出席者で会話が弾むように、出席者名簿を事前に周知する案もあとから提起され、次回より実行していこうということになりました。

説明者の周到な準備、参加の皆さまの規律ある団体行動、実行委員の親身なサポートにより満員御礼の第79回アーバントリップが無事終了したことを厚く感謝いたします。

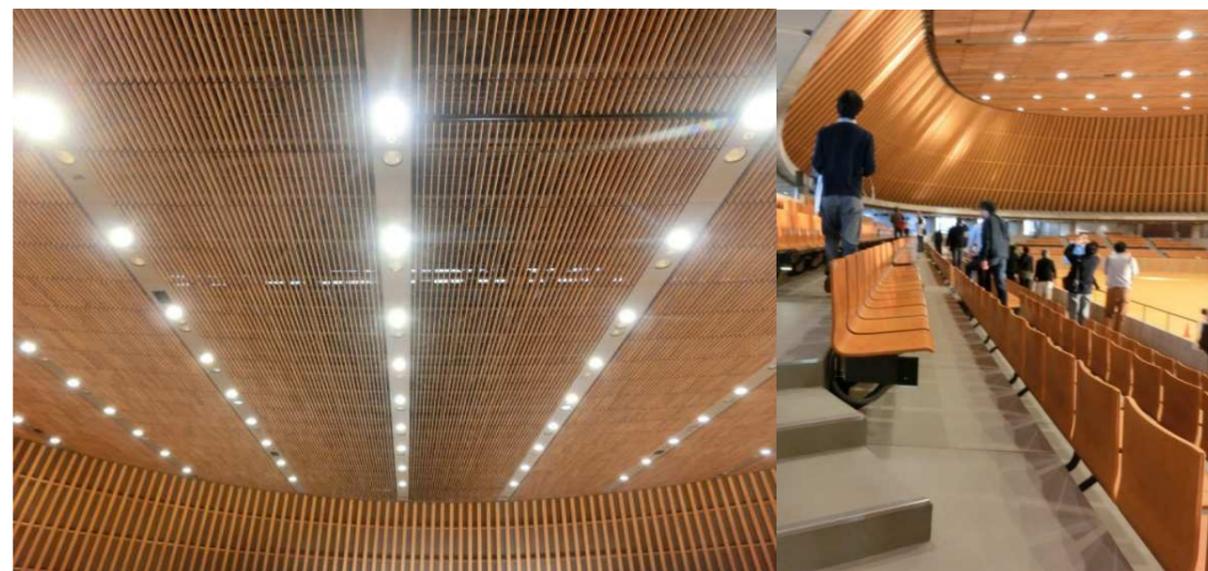
第79回 コーディネート 芝本敏彦



西沢さん(手前、着座)より上部より落ちる光の説明を受ける出席者一同



駿府教会礼拝堂のトップライトを見上げる



このはなアリーナ メインアリーナ天井の壮大な眺め

メインアリーナを思い思いに歩きまわる見学者